



2007年11月発行 厚別東まちづくりセンター
(厚別東4条4丁目9-3 ☎897-2885)

地図を囲んで災害時の行動などについて熱心に意見交換

厚別東地区災害図上訓練(D I G)を実施

厚別東地区の今年度のまちづくり重点課題は「地域の安全安心」です。その取り組みの一つとして、10月24日(水)午後1時30分から小野幌会館で災害図上訓練(D I G)を行いました。

D I Gは、Disaster(災害)、I magination(想像力)、Game(ゲーム)の頭文字を取って命名されたもので、参加者が地図を囲んで防災対策を検討する訓練です。地域の防災対策を考える上で、とても効果的な手法として注目されています。

今回は、D I Gの普及に携わっていらっしゃる北海道教育大学札幌校の佐々木貴子先生に講師をお願いし、各種団体から44人が参加して行われました。



地図を使って避難経路などを確認する参加者の皆さん。話し合いにも熱がこもります



あなたなら、どう行動する…。グループの発表を黒板に書きながら解説する佐々木先生

訓練では、地震が発生した場合の行動について、発生直後にどうするか、避難することになった時家で何をしていくか、などについて付箋にそれぞれの意見を書いて出し合いグループ内で整理するなど、災害時のイメージを膨らませました。

また、実際に地域の地図に自宅や避難所、病院やコンビニなどをマークしたり、災害時の危険な個所をチェックしたりしながら、熱心に意見交換。

参加者の一人は「あっと言う間の3時間でした。また参加者を募ってD I Gをやりたい地域の防災への取り組みを深めていきたいですね」と語っていました。

裏面に続きます。

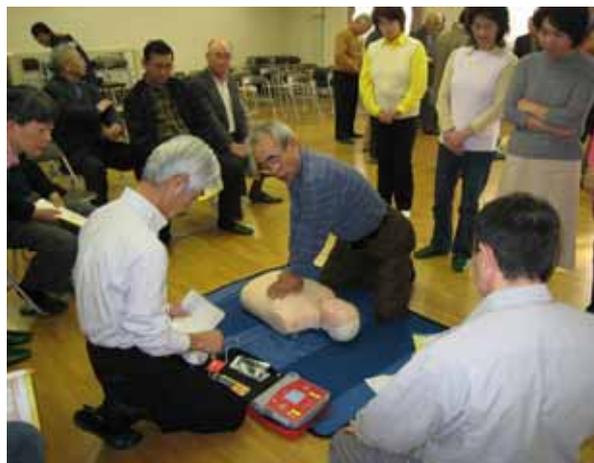
とっさの時に命を救いたい

A E D講習会を開催

11月6日(火)午後1時30分から小野幌会館で厚別東地区A E D講習会が開催され、各種団体から38人が参加しました。

A E Dとは、自動体外式除細動器のこと。心臓の筋肉が不規則に震え、全身に血液を送ることができない状態になった時、心臓に電気ショックを与え正常な状態に戻すためのものです。

この日は、厚別消防署西出張所ともみじ台出張所の職員の方8人が講師となり3グ



2人一組になってA E Dの使い方を体験

ループに分かれ、心肺蘇生法とA E Dの操作方法について学びました。

「高齢者の防災対策」について学ぶ

地区社協で福祉講演会を開催



地震発生のメカニズムについても分かりやすく説明を受けました

10月31日(水)午後2時から小野幌会館で厚別東地区社会福祉協議会主催の「福祉講演会」が開催され、福まちのスタッフや各町内会の福祉推進委員など87人が参加しました。

今回のテーマは、「高齢者の防災対策」。札幌市危機管理対策室の河原正幸課長を講師にお招きして、札幌市の地震対策の概要や災害時要援護者対策などの課題についてお話をうかがいました。

所長のつぶやき

D I Gに参加した皆さんの真剣な表情と会場の熱気・・・これはどこかで感じたことが。そうそう、2月の「演芸大会」以来(?)のパワーを実感した一日でした。(森下)

これからの主な予定

- ☞ 11月27日(火) 18:00 各種団体交流会・まちづくり会議(小野幌会館)
- ☞ 11月28日(水)・29日(木) 9:30 ふれあい料理教室(小野幌会館)
- ☞ 12月 7日(金) 13:30 食の安全講演会(小野幌会館)
- ☞ 12月 8日(土) 14:00 清掃問題懇談会(「スリムシティさっぽろ計画」市民意見交換会)(小野幌会館)

厚別東地区のホームページ(イベント等の情報が満載です。)

アドレス <http://www.community.sapporocdc.jp/city/atsu-higashi/>